

「鯛一郎くんだより」

こりゃ～鯛したもんだ！

2014年のテーマ！！

新しい人生の扉を開く！

社長挨拶

気が付けばもう6月も終盤!!現場で昨年の鯛の移動、選別や漁場作り、アンカーロープ替えや稚魚の受け入れなどをやっているうちに、アツという間に6月です。産卵期も終わろうとし、やっと回復に向かっていきます。エサが変われば産卵もこんなに変わるんだという経験をさせて頂きました。大変な産卵期でした・・・とは言っても昔通りになっただけなんです。。身は緩み、脂は抜け、身割れして皆様には大変ご迷惑をおかけした事と存じます。それにもかかわらず、**使い続けて頂いてるお客様には厚く御礼を申し上げます。**こんな最中にNHKの取材を受け放送が流れ、使ってみて頂いた方々にはSuper鯛一郎クンの印象が薄かったのではないかと思います。扱って頂いてる方々には良いフォローになった事と思います。さて、もう後半戦(自分の中では)が始まりました。産卵終了と共に又出かけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。**※福岡・広島にSuper鯛一郎クンを流通させたいと思っています。ご紹介頂ける方やお店、会社がございましたらご一報下さいませ。m(_ _)m(お頭)**



3/28イカ天国と愉快的仲間たち



イカ狂人の『イカ天国』齊藤さんです★

Super鯛一郎クンを介して知り合った匠達の集まりを開きましたイカ狂人の青木さん、水槽と水処理狂人の野崎さん、それに2人の知恵袋菅野さん、そして鯛狂人の私と・・・濃**い!**場所は東京・立川の活イカ狂人・齊藤さんの「イカ天国」さんで。皆さん最近出会った匠達です。まだ数回しか会った事がないのにすっかり仲間で、近況報告から始まってイカの話、水槽の話、Super鯛一郎クンの話で花が咲き、果ては夢や希望まで。それぞれが自分の事ではなくて相手の商売をあはしたらこうしたらと・・・酔いも混ざって大盛り上がり! 気のおけない仲間はいいいね。。最後は全員でパチリです。(お頭)



選別

さてさて水温も上がってきて選別です。まるまる2年くらいの1.2kgくらいの魚です。やり方もいろいろですが、今回は大きい物だけハネて秋に出荷予定となる9,000尾を作ります。丁寧に1匹づつ1匹づつ・・・腰を曲げて1匹づつ1匹づつ・・・1日中1匹づつ1匹づつ・・・ひたすら1匹づつ1匹づつ・・・我々は「腰がモげる!」なんて言いますが、壊れてしまう位腰に負担のかかる作業です。馬鹿言いながらやってた若いヤツらもだんだん無口になって来て・・・1匹づつ・・・1匹づつ・・・こんな作業が続きます。トータル年間で12万尾!!!考えると嫌になるのでかんがえない～～と。大好きな花見は遠い向こうの山の桜を見て終わりました・・・



5/4NHK「うまいっ!」

収録放送

日曜日の朝6時15分から、天野さんの司会で人気のNHK食料紹介番組「うまいっ!」に取り上げていただきました。収録にご協力いただきました皆様には、心より厚く御礼申し上げます。語りに語ったお頭は番組を見て「あんなに語ったのに放送されなかった・・・」とシュンとしていましたが、NHK側は今回ほど語った生産者と各インタビュー先はなかったということでした(笑) 圧巻だったのが、スタジオにずらりと並んだ名前の付いた愛媛県産の養殖真鯛20数枚でしたね。もう6年以上も毎年夏の船上花火大会に訪れている友達が放送を見て、「あんなにこだわっているんだ! 花火と宴会しか知らなかったわ!」というズッコケのコメントをくれ笑わせましたが、そのほか、**国際電話が2本かかって来ました。**英国から1本と、もう1本は今度帰国したらどこで買えるかというものでした。英国からは、鯛一郎クンの技術を英国の養殖に取り入れられないか? というものでした。NHKは世界中で見られるのがすごいですね!(胸びれ)

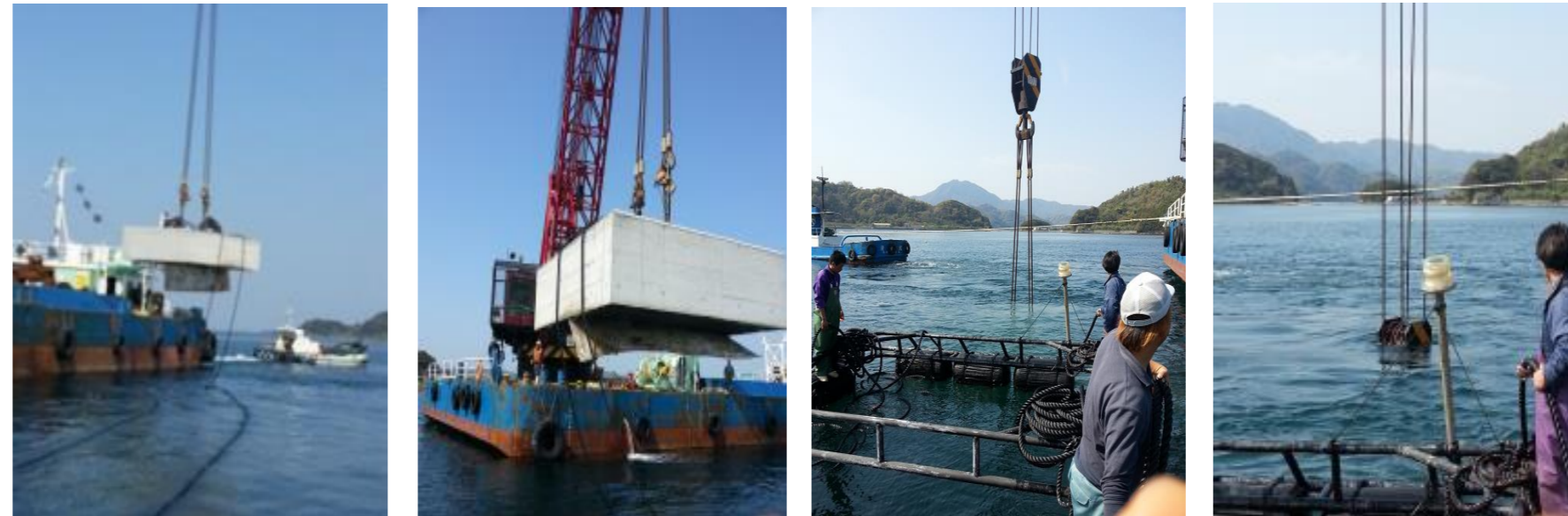
ワイも出たでえ～

🔥 熱く語るお頭 🔥



何十年に一度の大作業・新漁場作り!!!

弊社が所属する宇和島漁協。弊社に来られたことのある人はわかると思いますが出荷をしている基地イカダの少し沖にカラのイカダを置いている漁場がありました。今回そこを抹消して沖に新しく漁場を設定して頂きました。**そうそうある事ではないので大特集です! 簡単そうで簡単ではないので大特集です!**まずは海の底55メートルに30トンのコンクリートブロックを設置します。クレーンで吊り下げて海底に届くまで下げて行きます。途中で離すとまっすぐは沈まずシャーっとすべってしまい何処へ行くか分からないからです。ブロックには36ミリのロープを付けて、ゆっくりゆっくり・・・間違いのないように降ろして行きます。途中で何かあれば即、「死」につながる作業なのでロープを持つ若い子達には「何かあったら離して逃げろ!!」と指示をして! 慎重に・・・慎重に・・・前後のタグボートの動きを台船の上から『右!』『左!』と指示を出しキチッと目標の場所へ。そうやって1つづつ1つづつ予定の所へ据え付けていきました。



こうやってA・B・C・Dとブロックを設置して、そのロープでイカダを縛って固定し完了です。この作業を3回、合計3列(10台×3列)の新しい漁場を作りました。5人分の漁場で湾内に置いて使えなかったイカダが使えるようになったという事です。でもこれは誰でもどこにでもやっ**てい**いというものではなく、我々が漁協に申請を出して→理事会に何度もかかり→総会に提出し→承認をとり→県の認可を受けてやっと施行されるものなのです。我々の漁場が**移動したのは25～30年ぶり**ではないでしょうか? 久しぶりすぎて定かではありません。調べよ!! っていうのはなしですが・・・(笑) Big News でした。

